

1. 会議名	令和7年度 第3回出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議
2. 開催日時	令和8年(2026)3月24日(火) 10:00~11:45
3. 開催場所	出雲市役所 3階庁議室
4. 出席者	<p>《委員》</p> <p>【出席】</p> <p>松本新吾会長、山岡 忍副会長、松浦 研二委員、原 久子委員、兵井 早苗委員、 槇原 綾子委員、山本 雅信委員、三島 慎也委員、陰山 篤也委員、北脇 正巳委員、 大場 利信委員、福田 実委員、中島 亮委員、角 健二委員</p> <p>【欠席】</p> <p>金築 千晴委員、小松 正嗣委員、坂根 俊委員、須田 のり子委員、江角 尚子委員、 加本 るい委員</p> <p>《事務局》</p> <p>商工振興課長、商工振興課職員(5名)、産業政策課長、産業政策課職員(1名)</p>
5. 次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 議題</p> <p>(1) 令和8年度当初予算(案)における中小企業等振興事業 主要事業一覧について</p> <p>(2) いずも縁結びPAY、いずもデジタルスタジオについて</p> <p>3. その他事項</p> <p>4. 閉会</p>
6. 会議内容(概略) ※敬称略	
事務局	<p>ただいまから、令和7年度 第3回出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議を開会する。 委員の交代についてお知らせする。島根中央信用金庫の壺倉委員が退任され、後任の山本雅 信様に新たな委員になっていただいた。任期は令和9年7月30日となっている。</p> <p>【退任】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根中央信用金庫 壺倉浩平 <p>【新任】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根中央信用金庫 山本雅信 <p>《議題1：令和8年度当初予算(案)における中小企業等振興事業 主要事業一覧について》</p> <p>会長 議題1について事務局に説明をお願いします。</p> <p>事務局 [資料1に基づいて説明]</p> <p>会長 ただいまの説明を受けて、何か質問等があるか。</p> <p>委員 特産品の販路拡大事業だが、農産物も入っているのか。たとえばデラウェアとかは入っている のか。</p> <p>事務局 加工品は入っているが、農産物は農林水産部で特産品振興ということで、別途されてる事業で</p>

ある。

委員 観光関係の予算の考え方について、観光振興事業はどういう考えなのか。一定の成果がでたから予算を減額しているか、それとも物価高騰等があり急ぎのものがあるから予算を落としているのか、差し支えないところで教えていただきたい。

事務局 昨年度と比べて、観光振興事業でマイナスがついている事業が多い。これは、今年度のところで、一定のものを整備したからである。例えば、観光の計画については昨年のもので作成を行い、来年度から計画に基づいて実行することや、あるいはハードの部分、例えばレンタサイクル等について、令和7年のところで整備したというイニシャルの予算があったので予算が膨らんでおり、国等の予算を令和7年度のところで活用ができたのでそういったことができた。令和8年度からそのようなものを運用するいうところで、予算が縮小する形になっている。

委員 デジタル商品券について、8年度も商品券を予定しておられるが、令和7年度の実績と比べ令和8年度の予算額はどうなっているのか伺いたい。

事務局 今年度の商品券事業の予算は、原資として1億5000万の予算であった。これは当初、1人3000円の5万人分ということで1億5000万ということで実施したが、第1段を行った結果、購入者が9078人で、販売額としてはプレミアム分を含み1億1800万であった。原資が残ったので、第2弾として1人当たり6000円の2万人分ということで事業を行った。結果として、1万2957人の方に購入いただき、販売額としてはプレミアム分を含み3億3300万程度であり、合計するとプレミアム分を含み4億5000万程度のお金が消費された。今年度については、プレミア率30%だったが、8年度はプレミアム率をアップさせて、50%ということで、2万円で3万円の商品券が購入できる形で実施して、利用者の拡大を計っていきたい。

委員 観光協会支援事業で、観光協会から大社で、観光客は増えてるけど、トイレがないということで、実際に土地を探して歩かれたり、購入じゃなくても借地でもないかというような話を聞いていた。そのような中で予算が減額になっており、いろんな事業が終わりつつあるということであったが、まだやらなくてはいけないことがある中で、今後予算面をフォローする必要があると思う。今後のことも含めて聞かせてほしい。

事務局 8年度予算が昨年と比べて減っているというのは、事業が終わったというわけではなくて、令和7年度のところで、いつも以上のお金をかけて整備を行ったということである。先ほど山本委員がおっしゃったように、例えば、出雲大社周辺のトイレや駐車場といったハード整備というところは、まだまだ課題があると認識している。そういったところで、今新たな観光財源の検討委員会を立ち上げながら、審議をしており、どういう結論になるかはこれからであるが、トイレの整備も含めて財源の確保ということも含めて、今後充実していかなければいけない事項である。決して歩みを止めているわけではなく、これからも課題解決に向けて進んでいく。

会長 観光事業について、受地（受け入れ）対策が重要であると思っている。トイレの整備もハード面での受地対策（受け入れ）だと思うが、ソフト面でもやはり今SNSが一番の情報発信になっており、実際に観光した人が、口コミで発信することが、おそらく一番の誘客につながると思う。そうなってくると、出雲を訪れたお客さんが満足されるかどうかというのが一番大事な話で、おもてなしという面でどれだけ具現化されて、感動を呼んだかという部分がポイントだと思う

ので、そういったところを今後は注力されていったらいいのかなと思う。

委員 説明もあったが、4億9000万の増額をされたということなので、しっかりと結果がでるような形にしないといけないと思う。中小企業支援、ものづくり、観光もあるが、しっかり成果が出るような形で頑張っていたきたい。

委員 ヒトモノづくり推進事業の200万円の増額は、いずれもデジタルスタジオ業務委託の増額という認識でいいか。

事務局 そうである。

委員 デジタル人材の育成や、小中学生だけではなく高齢者のスマホ教室等も良い事業だと思うので、続けて行ってほしい。

委員 観光のインバウンド推進事業について、フランスからの誘客ということを中心に書いているが、台湾からの誘客を進めたらどうかと思っている。いわゆる表日本は観光に来られる台湾の皆さんはだいたい行っておられるので、裏日本（例えば北陸とか山陰とか）というものに興味を持っておられるようである。そのような意向があるので、その辺りをリサーチし台湾の誘客を進めれば、もっとにぎやかになるのではないかとと思っている。観光課に伝えていただきたい。

委員 採用ブランディング・UIターン人材採用支援について、採用ブランディングそのものの計画策定をすることによって、その次の補助金が受けられるという理解でよいか。

事務局 採用ブランディング計画を立て、市が委託した業者のセミナーを受けていただいた企業さんを前提条件として、補助金を受けていただける。

委員 この計画策定というのは、国とか県とか、他の採用ブランディングの支援メニューに対しての要件になっていることもあるのか。

事務局 島根県も同様に以前からやっているが、前提条件があり使いにくいという声を聞いているおり、条件を取っ払って使いやすいものにしようと考えている。

委員 具体的な補助金のメニューというのは決まっているのか。

事務局 就職求人情報サイトに登録されるときに登録料、掲載料を補助する形で考えており、事業費上限60万に対し、補助率3分の1、上限20万円を補助すると考えている。

会長 基本方針の①から⑬までであるが、予算施策番号として、⑤の積極的にチャレンジする企業応援がないと思う。ミライビジネスのところは施策全般と書いてあるので、ここの中で実施するのかなと思うが、チャレンジする起業の新しい挑戦を後押しするような施策をやっていただいてもいいかと思う。

事務局 ⑬番もなく、どういった支援ができるのかということをあわせて検討したいと思う。なお、⑬番については、商工団体の皆さんとミライビジネスいずれもと市で、現在定例会を開催しており、その中でそれぞれやってることを、相互理解しながら役割分担とか連携をしてそのような部分を進めているところである。

《議題2：いずれも縁結びPAY、いずれもデジタルスタジオについて》

事務局 [資料2-1、2-2に基づいて説明]

会長 説明を受けて意見、質問等はあるか。

委員	縁結び PAY の加盟登録店舗数 548 だが、出雲市の店舗数の何割程度なのか。もしわからなければ、後ほどでも教えていただきたい。
事務局	改めて示させていただきます。
委員	登録者数等の目標にされている数値を教えてください。
事務局	山陰合同銀行を代表企業とするコンソーシアムの当初目標であるが、加盟店舗については、7 年度末のところでは 500 店舗である。登録者数については、令和 7 年度末で 1 万 4 千人を目標をしており、加盟店舗、登録者数については達成できた。ただし、商品券事業では第 1 段で 5 万人、第 2 段では 2 万人を目標に取り組んだところである。8 年度については、3 万人を目標に取り組んでいく。ただ、加入者・利用者を増やしていくというのは、商品券事業ばかりだと限界があると思っており、いずれも縁結び PAY の説明の中でも説明した、加盟店舗からのクーポン発行機能やイベントでのスタンプラリー機能や行政ポイント、こういった施策を組み合わせながら官民一体となって、いろんな形での取り組みを進めながら、利用者を増やしていきたい。
委員	アプリをリニューアルされて、切り替えを行っておられない方へのサポートもしていただきたい。
事務局	商品券事業の中でも、行政センター等でサポート会を実施することにしており、スマートフォン教室も行う予定であり、そういった機会をとらまえながら、更新のお手伝いをしていきたい。また、商工振興課に直接わからない方がいらっしゃるケースも多々あり、都度対応させていただいているので、サポートはしっかりとしていきたい。
委員	いずれもデジタルスタジオについて、例えば商業高校の情報課の生徒が利用すると考えていたが、高校の授業とのダブリがあって利用されていないのか。高校生に使ってもらうようにはたらきかけていただきたい。
事務局	高校の方には、直接出かけていってお知らせをしているが、参加者が増えていない。今後の周知に努めていく。授業とダブっていてデジタルスタジオが使いづらいという意見は出ていない。承知した。
会長	商業高校は情報の先生がおられると思うが、実際にデジタルスタジオを見学されて、実際にどうことができるかということは体験されているのか。
事務局	まだ開所以来、情報の家庭の先生に来ていただいたことはないので、改めて高校にはたらきかけていきたい。
会長	そういう機会を設けたら増えると思うので、是非やっていただきたい。
事務局	出雲の高校ではなく、浜田商業高校から見学に来られた実績があり、e スポーツ連合さんが呼びかけを県内でもされているので、そういった地道な呼びかけや高校生の関心を得るような形をこれからとっていく。高校の先生を含めて来ていただければ、こんな使い方がいいんじゃないかという違った発想も出てくると思うので、そういったニーズをとらえて教室展開をしていきたい。
委員	デジタル教室の内容で Canva の基本操作、チラシポスターの作成等とあるが、Canva は高校生、特に商業高校の子はみんな使えるんじゃないかと思っている。また、デジタル通貨だが、店に使ってもらう時に、あえていずれも縁結び PAY を使ってもらうためのメリットがないといけないと思う。今回新たに追加されたクーポンがとても良いと感じている。縁結び PAY で支払う

ことのメリットがお店側にもあることが大事かなと思う。

事務局 高校生向けで Canva 教室をやっているが、実際来ていただく方は飛び込みで社会人の方が来ていただいている状況がある。今後高校生に刺さる教室を展開していきたいので、またいいご意見があれば、教えていただきたい。

縁結び PAY についても、加盟店の皆様にもご協力いただきながら、取り組みを進めていきたい。また、縁結び PAY を導入した目的である、出雲市内でお金をまわしていきましょうという本来の意義もあるので、そういったことも含めていろんな周知を図っていきたい。

委員 縁結び PAY の説明の中での 7,066 人という数字は、新しいアプリに切り換えをして、利用ができる状況になっている方が 7,066 人ということか。

事務局 そうである。

委員 逆に言うと、これから先にある商品券が期待するところにはなと思うが、1 回目 2 回目を使い切って、それ以降チャージもせずに使っておられない方をまた呼び込むことにはなと思う。そこで数字がまたいくらか上がると思うが、結局またそれで使い切って終わり、また使わないというのも、多分にしてあるかなと思うので、やはり次の策を今のうちから探っていくことが常時利用されるツールとして、市民の方が使うところに根付いていることになると感じる。また、飯南町さんで、い〜にゃん PAY というものがあり、市民型である。買い物をするときそれを利用されてる方の比率がとても多いと聞いた。いろんな地理的条件と生活環境も影響している部分もあると思うが、利用率の高いところの成功事例も情報提供しながら、お願いした立場としても登録者数が増えるようにやっていきたいと思っている。

事務局 い〜にゃん PAY については、どういう取り組みをされてるのかというのは確認させていただきたい。やはり商品券事業頼みでは、広がりに限られていると思っていて、やはり民間側の動きが重要になってくると思う。先ほど申しましたような、クーポン発行機能など、いずれ縁結び PAY ならではの取り組みを進めていながら、官民一体となってやっていくという形で進めていきたい。そういった意味ではまた商工団体の皆様に、各会員企業の皆様への声かけなどをお願いする場面があると思う。

委員 市役所の発行手数料を縁結び PAY で使えたらと 2 回目の会議で言ったが、その後の状況はどうか。

事務局 1 1 月から市民課、資産税課、市民税課の方での証明手数料が使えるようになった。それ以外にも、市で受ける収入等、いろいろあるので、どういったものが対応できるかということのリストアップしている。特に公共施設の施設使用料とかは、取り組みやすいのかなと思ったりしているところである。その辺り関係課とこれから協議を進めていく話をしているので、できるだけ公共料金に使えるような形にしていきたい。

《議題 3 : その他について》

事務局 モデル事業、セミナーについて説明

会長 説明を受けて意見、質問等はあるか。

意見なし

会長 それでは以上で、本日より予定されていた議事は終了します。事務局にお返しします。

事務局 最後に令和8年度振興会議の1回目の日程だが、6月ごろに開催する予定としている。また時期が近づいたら正式にご案内をさせていただく。
以上をもって、令和7年度 第3回出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議を閉会する。